

大阪から運ばれた土器



大阪で焼かれた須恵器。1600年前。御代田町前田遺跡出土。

昭和60年、今から20年程前の夏のある日、小田井の西にある前田遺跡の住居跡から奇妙な土器が発掘された。

にぎりごぶしほどの丸い胴体に穴が開き、ラップ状の口がつく、ねずみ色の焼き物で、同じものが3個あった。焼き物は須恵器(すえぎ)と呼ばれる窯で焼いた硬質の土器で、5世紀ごろ、今から1600年前のものらしい。穴にくだを通し、中に酒などをいれて注いだ酒器のようだ。ただ、この付近では見慣れない土器である。

産地を調べるため奈良教育大学でX線分析をしたところ、大阪の陶邑(すえむら)という窯で焼かれたことがわかった。このほか一緒に出土したフタも大阪の陶邑で焼かれたものであった。

なぜ1600年も前に、大阪からはるばるこの地これらの土器が運ばれたのだろうか。それらは、おそらく大和朝廷からこの地方の有力者に与えられたもので、両者の支配関係を示す贈り物ではなかったか。

佐久地方でもきわめて珍しいこれらの土器は、現在御代田町の指定文化財となっている。



須恵器の出土した住居跡

企画展 バリアレス・ハート アート展

■12月2日～12月24日 ■浅間縄文ミュージアム 企画展示室

御代田町の人口(11月1日現在)

●人口 14,180人(先月比-1) 男7,119人女7,061人

●世帯数 5,449世帯(先月比+1) ●外国人登録者数 792人

みよた広報 やまゆり ●発行/御代田町 〒389-0292 長野県北佐久郡御代田町大字御代田 2464-2 ☎0267-32-3111